

令和6年度

2級建築施工管理技術検定 第二次検定

解

答

試

案

※ご注意※

- ・本解答は、令和6年12月4日にCIC日本建設情報センターが独自に制作・編集したもので、予告なく変更する場合がございます。また、CIC日本建設情報センターが独自の見解に基づき制作したもので、試験結果等について保証するものではありません。
- ・解答試案の内容及び正当性に関するお問い合わせは受け付けておりませんので、悪しからずご了承ください。
- ・試験実施機関の(一財)建設業振興基金とは、一切関係ございません。

CIC 日本建設情報センター<https://www.cic-ct.co.jp/>

不許複製

【問題 1】

※施工経験記述問題のため、解答例は省略します。

【問題 2】

※ a 及び k 以外の用語については、作業上の安全に関する記述は不可とする。また、使用機材に不良品はないものとする。

(下記以外にも正答となり得る留意すべき内容はあるが、本試案では代表例を提示する)

a	足場の壁つなぎ	①用語の説明	足場の倒壊防止のため、足場と建設物等を専用の壁つなぎ金物を用いて強固に連結すること。
		②施工上留意すべきこと	壁つなぎの垂直・水平間隔は、足場の種類により異なり、安全基準で決められた間隔以内とする。
b	型枠のセパレータ	①用語の説明	型枠工事の際、コンクリートの側圧を支え、せき板相互の間隔を正しく保持するために用いる金物。
		②施工上留意すべきこと	漏水のおそれのある地下外壁等では、型枠締付け材にコーンを使用し、コーンの跡の穴に防水剤入りのモルタルを充填する。
c	クレセント	①用語の説明	建築金物の一種で、引違い、片引きサッシ等の召合せ部に取り付ける締り金物のこと。
		②施工上留意すべきこと	操作時に無理なく開閉することができ、適切な締付け力を保持できるように取り付ける。
d	鋼矢板	①用語の説明	鋼製の矢板で両端に継手があり、お互いに組み合わせることで鉄の壁を作る。掘削工事において、土留め壁、止水壁として使われる。
		②施工上留意すべきこと	鋼矢板打ち込み作業においては、傾きや共下がりを防ぐため屏風打ちをする。
e	先送りモルタル	①用語の説明	コンクリートの圧送に先立ち、輸送管内の湿潤性の確保を行い、コンクリートの品質低下を回避するために圧送するモルタル。
		②施工上留意すべきこと	先送りモルタルは富調合モルタルとし、圧送後のモルタルは、型枠内に打込まないことを原則とする。
f	鉄骨工事の建入れ直し	①用語の説明	建方された柱や梁等の倒れや水平度等を、正しく修正すること。
		②施工上留意すべきこと	複数の節や多スパンからなる鉄骨の建入れ直しは、建方の進行とともに、できるだけ小区画に区切って行う。

g	テーパエッジの せっこうボードの 継目処理	①用語の説明	エッジが大きく斜めにカットされたせっこうボードを用いて継目処理を行い、目地のない平滑な面を作る工法。
		②施工上留意すべきこと	ボード面の継目をジョイントテープやジョイントコンパウンド等によりしごき押えていくが、コンパウンドは塗り重ねるほど幅広く平滑に仕上げる。
h	天井インサート	①用語の説明	天井を吊るために、コンクリート打ちの際にあらかじめ埋め込む金物。
		②施工上留意すべきこと	天井インサートの間隔は900mm程度とし、周辺部は端から150mm以内に吊りボルトが配置できるように取り付ける。
i	土工事における 釜場	①用語の説明	地下湧水が少ない場合に用いられる釜場工法において、掘削底面に湧出してくる地下水等を集水するためのピットのこと。
		②施工上留意すべきこと	設置にあたっては、基礎工事に支障を与えないよう考慮し、水と一緒に砂分を揚げるおそれがある場合は底蓋付きのスクリーン外側にフィルターを設置する。
j	布基礎	①用語の説明	フーチングが横方向に連続した基礎。
		②施工上留意すべきこと	立ち上がり部分とフーチング部分が一体となるようにコンクリートを打設する。
k	ベンチマーク	①用語の説明	建築物等の高さ及び位置の基準を示すもの。
		②施工上留意すべきこと	ベンチマークは2箇所以上設けて、相互にチェックできるようにする。また、ベンチマークは正確に設置し、工事中に移動しないようその周囲を囲う等、養生を行う。
l	防水工事の 脱気装置	①用語の説明	露出防水絶縁工法で、下地面の湿気を防水層の外部へ排出する装置。
		②施工上留意すべきこと	取付け間隔は、平場で25～100㎡に1個程度、立上り部で長さ10m間隔に1個程度を目安に、装置の排出能力に応じた分担面積とする。
m	木製の額縁	①用語の説明	窓や出入口の周りに設ける木製の見切り材。
		②施工上留意すべきこと	継手は、隠し目違い継ぎ、板じゃくり、壁じゃくり等をする。
n	床コンクリートの直均し仕上げ	①用語の説明	床コンクリート打設後、硬化の程度を見計らって直ちに金ごて等で表面を平滑に仕上げる工法。
		②施工上留意すべきこと	踏み板を用いて金ごて等で押さえを行い、セメントペーストを表面に十分浮き出させる。

【問題 3】

1	鉄筋コンクリート工事の①に該当する作業名	基礎、地中梁
	金属工事の②に該当する作業名	壁・天井軽量鉄骨下地
2	着手時期が不適当な作業名	外部建具
	適当な着手時期	3月中旬
3	1月末の工事金額の合計に対する比率	20%
4	3月末までの実績出来高の累計の金額	5,000万円

【問題 4】

1. 建設業法	①	④ 施工計画
	②	① 品質
2. 建築基準法	③	① 火気
	④	② 不燃
3. 労働安全衛生法	⑤	② 作業
	⑥	③ 技能講習

【問題 5-A】

※受検種別：建築の受検者が解答。

1	①	② 縄張り	5	⑤	④ 水上
2	②	④ 超音波探傷	6	⑥	① 2.0
3	③	④ 100	7	⑦	② 本磨き
4	④	③ 30°	8	⑧	③ 900

【問題 5-B】

※受検種別：躯体の受検者が解答。

1	①	③ 標準貫入	3	⑤	③ 縦桟木
	②	② 30		⑥	① 10
2	③	① 呼び	4	⑦	① 20
	④	④ 90		⑧	② 地面

【問題 5-C】

※受検種別：仕上げの受検者が解答。

1	①	④ 300	3	⑤	① クリップ
	②	① ストレッチ		⑥	③ 2.7
2	③	② 100	4	⑦	② 30
	④	③ 50%以下		⑧	④ 直角